

抗凝血薬療法手帳

ワルファリン K 細粒 0.2%「YD」

2014 年 7 月追加箇所 (アンダーラインが追加箇所です)

併用注意

①本剤の作用を増強する薬剤・飲食物

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗てんかん剤	
フェニトイン、 <u>ホスフェニトインナトリウム水和物</u>	アレビアチン、ヒダントール、 <u>ホストイン</u> 、他
抗血栓剤	
X a 阻害剤 (フォンダパリヌクスナトリウム、エドキサバントシル酸塩水和物、 <u>リバ</u> <u>ーロキサバン</u> 、 <u>アピキサバン</u>)	アリクストラ、リクシアナ、 <u>イグザレルト</u> 、 <u>エリキユース</u>
抗腫瘍剤	
フルオロウラシル系製剤及びその配合剤 (カペシタビン、フルオロウラシル、テガフル、 <u>テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム</u> 等)	ゼローダ、5-FU、フトラフル、 <u>ティーエスワン</u> 、他

→ 裏面もご確認下さい。

②本剤の作用を減弱する薬剤・飲食物

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗てんかん剤	
フェニトイン、 <u>ホスフェニトインナトリウム水和物</u>	アレビアチン、ヒダントール、 <u>ホストイン</u> 、他

③本剤の作用減弱・増強以外の相互作用をきたすおそれのあるもの

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗てんかん剤	
フェニトイン、 <u>ホスフェニトインナトリウム水和物</u>	アレビアチン、ヒダントール、 <u>ホストイン</u> 、他

抗凝血薬療法手帳

ワルファリンK 細粒 0.2%「YD」

抗凝血薬療法

ワルファリンK細粒0.2%「YD」による抗凝血薬療法を施行中です。拮抗剤は、ビタミンKです。

氏名	
生年月日	年 月 日
血液型	A B O 式 (型) R h (型)
住所・電話番号	〒 - Tel ()
病名	
手術々式	年 月施行
人工弁の種類	
医療機関名	
電話番号	()
担当医師名	

患者様への注意事項

ワルファリンK細粒0.2%「YD」は、血液を固まりにくくする薬です。血栓や出血の危険を避けて、より良い治療効果が得られるよう、下記の事項を必ず守って下さい。

①定期的に診察を受けて血液検査をして下さい。

お薬の量や服用回数は、患者様の血液検査の結果などに基づいて、先生が決めています。

定期的に血液凝固能検査等の血液検査を受けるようにしましょう。

②必ず先生に指示された通りに服用して下さい。

先生から指示された通りに服用し、飲み忘れに注意しましょう。毎日決まった時間に飲む事をお勧めします。

飲み忘れた場合は、気付いた時にできるだけ早く1回分を飲んで下さい。ただし、半日以上経過していた場合は、飲み忘れた分を飛ばして、次から決められた量を飲みましょう。絶対に2回分をまとめて飲んではいけません。

③これらの際には事前に先生に相談して下さい。

出血する可能性がある手術や歯の治療を受ける際には、事前に先生に相談して下さい。

他の薬を服用したり、止めたりする時、風邪等で他のお薬を薬局で購入する場合にも、必ず先生に相談して下さい。

④出血等に注意して下さい。

このお薬を飲むことで、出血した際に血が止まりにくくなっています。

けがをする可能性のある行動は避けるようにし、けがをしないよう注意しましょう。出血が長引く場合やけがの範囲が大きい場合は、直ちに受診して下さい。

粘膜出血や皮下出血等、異常を感じた場合も、直ちに受診して下さい。

⑤納豆・クロレラ食品及び青汁の摂取は避けて下さい。

ビタミンKはこのお薬の働きを弱めます。

納豆、クロレラ食品、青汁等はビタミンKを多く含みますので、摂取を避けて下さい。特に納豆は、腸内で納豆菌の働きによりビタミンKを産生することがあります。

緑黄色野菜や海藻類もビタミンKを比較的多く含みます。摂取量は毎日一定とし、一度に大量摂取することは避けて下さい。

またセイヨウオトギリソウやアルコールも薬効に影響しますので、摂取を控えて下さい。

⑥服用中は妊娠を避けて下さい。

もし妊娠を希望される場合は、先生に相談して下さい。

⑦お薬は適切な場所に保管して下さい。

光、湿気を避け、子供の手の届かないところに保管して下さい。

⑧他の先生に診てもらう時にはこのお薬のことを伝えて下さい。

他の先生（医師・歯科医師・薬剤師）に診てもらう時には、この手帳をご提示下さい。

併用禁忌

ワルファリンK細粒0.2%「YD」の効果に影響のある薬剤を以下に示します。

これらの薬剤を処方されている方は、その薬剤の服用を止めて、至急医師・薬剤師にご相談下さい。

●作用を増強するため併用してはいけない薬剤

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗リウマチ剤	
イグラチモド	ケアラム、コルベット

●作用を減弱するため併用してはいけない薬剤

薬効分類	
成分名	主な商品名
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 製剤	
メナテレノン	グラケー、他

併用注意

ワルファリンK細粒0.2%「YD」の効果に影響のある薬剤を以下に示します。

ただし全ての薬剤において相互作用が検討されている訳ではありませんので、新たに他剤を併用したり休薬する場合には、血液凝固能の変動にご注意下さい。

①本剤の作用を増強する薬剤・飲食物

薬効分類	
成分名	主な商品名
催眠鎮静剤	
トリクロホスナトリウム	トリクロリール
抱水クロラール	
抗てんかん剤	
エトトイン*	アクセノン
バルプロ酸ナトリウム	デパケン、他
フェニトイン*	アレビアチン、ヒダントール、他
解熱鎮痛消炎剤	
アスピリン*	
アセトアミノフェン	ピリナジン、アンヒバ、他
イブプロフェン	ブルフェン、他
インドメタシン	インダシン、インテバン、他
インドメタシンファルネシル	インフリー
エトドラク	オステラック、ハイペン、他
ケトプロフェン	カピステン、他
サリチル酸類	バファリン、他
ジクロフェナクナトリウム	ボルタレン、ヨウフェナック、他
スリンダク	クリノリル、他
セレコキシブ	セレコックス
テノキシカム	チルコチル、他

*……………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

薬効分類	
成分名	主な商品名
解熱鎮痛消炎剤	
トラマドール塩酸塩	トラマール
ナブメトン	レリフェン
ナプロキセン	ナイキサン
ピロキシカム	フェルデン、バキソ、他
ブコローム	パラミジン
フルルビプロフェン	フロベン、他
メフェナム酸	ポンタール、他
メロキシカム	モービック、他
モフェゾラク	ジソペイン
ロルノキシカム	ロルカム
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン、リングリーズ、他
精神神経用剤	
三環系抗うつ剤（アミトリプチリン塩酸塩等）	トリプタノール、他
パロキセチン塩酸塩水和物	パキシル
フルボキサミンマレイン酸塩	デプロメール、ルボックス、他
メチルフェニデート塩酸塩	リタリン
モノアミン酸化酵素阻害剤	
不整脈用剤	
アミオダロン塩酸塩	アンカロン、他
キニジン硫酸塩水和物	

薬効分類	
成分名	主な商品名
不整脈用剤	
プロパフェノン塩酸塩	プロノン、他
高脂血症用剤	
シンバスタチン	リポバス、シンスタチン、他
デキストラン硫酸エステルナトリウム	MDSコーワ、他
フィブラート系（ベザフィブラート、クリノフィブラート、クロフィブラート、フェノフィブラート等）	ベザトールSR、ベザリップ、リポクリン、トライコア、リピディル、他
フルバスタチンナトリウム	ローコール、他
ロスバスタチンカルシウム	クレストール
消化性潰瘍用剤	
オメプラゾール	オメプラール、オメプラゾン、他
シメチジン	タガメット、エスメラルダ、他
ホルモン剤	
グルカゴン	
抗甲状腺製剤（チアマゾール等*）	メルカゾール、他
甲状腺製剤（レボチロキシンナトリウム水和物等*）	チラーヂンS、他
ダナゾール	ボンゾール、他
男性ホルモン（メチルテストステロン等）	エナルモン、エネルファ
蛋白同化ステロイド（ナンドロロンデカン酸エステル等）	デカ-デュラボリン、プリモボラン、他

*……………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

薬効分類	
成分名	主な商品名
ホルモン剤	
副腎皮質ホルモン（プレドニゾロン等*）	プレドニン、リンデロン、ソル・メドロール、コートン、他
痔疾用剤	
トリベノシド	ヘモクロン、他
トリベノシド・リドカイン	ボラザ G、他
抗血栓剤	
ヘパリンナトリウム	ノボ・ヘパリン、他
ヘパリンカルシウム	
低分子量ヘパリン（ダルテパリンナトリウム等）	フラグミン、他
ヘパリノイド（ダナパロイドナトリウム）	オルガラン
Xa阻害剤（フォンダパリヌクスナトリウム、エドキサバントシル酸塩水和物）	アリクストラ、リクシアナ
抗トロンビン剤（アルガトロバン水和物、ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩）	ノバスタン、スロンノン、プラザキサ、他
アスピリン*	
イコサペント酸エチル	エパデール、ヤトリップ、他
オザグレレルナトリウム	キサンボン、カタクロット、他
クロピドグレル硫酸塩	プラビックス
サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ、他
シロスタゾール	プレタール、エジェンヌ、他

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗血栓剤	
チクロピジン塩酸塩	パナルジン、ピエテネール、他
ベラプロストナトリウム	ドルナー、プロサイリン、ベラドルリン、他
リマプロストアルファデクス	オパルモン、プロレナール、他
アルテプラゼ	アクチバシン、グルトパ
ウロキナーゼ	ウロナーゼ、他
モンテプラゼ	クリアクター
乾燥濃縮人活性化プロテインC	アナクトC
トロンボモデュリン アルファ	リコモジュリン
バトロキソビン	デフィブラーゼ
痛風治療剤	
アロプリノール	ザイロリック、他
プロベネシド	ベネシッド
ベンズブロマロン	ユリノーム、他
酵素製剤	
プロナーゼ	エンピナース、ガスチーム、他
ブロメライン	キモタブ、ヘモナーゼ、他
糖尿病用剤	
スルホニル尿素系糖尿病用剤* (グリベンクラミド、グリメピリド、クロルプロパミド、トルブタミド等)	オイグルコン、アマリール、アバマイド、ブタマイド、他

*………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗リウマチ剤	
レフルノミド	アラバ
抗腫瘍剤	
アザチオプリン*	イムラン、アザニン
イマチニブメシル酸塩	グリベック
エルロチニブ塩酸塩	タルセバ
ゲフィチニブ	イレッサ
タモキシフェンクエン酸塩	ノルバデックス、他
トレミフェンクエン酸塩	フェアストン、他
フルオロウラシル系製剤及びその配合剤（カペシタビン、フルオロウラシル、テガフルール等）	ゼローダ、5-FU、フトラフル、他
フルタミド	オダイン、他
メルカプトプリン水和物*	ロイケリン
アレルギー用剤薬	
オザグレル塩酸塩水和物	ベガ、ドメナン、他
ザフィルルカスト	アコレート
トラニラスト	リザベン、他
抗生物質製剤	
アミノグリコシド系	
クロラムフェニコール系	クロロマイセチン、他
セフェム系	セフゾン、ケフレックス、他

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗生物質製剤	
テトラサイクリン系	アクロマイシン、ミノマイシン、ピブ ラマイシン、他
ペニシリン系	サワシリン、パセトシン、ピクシリン、 他
マクロライド系（エリスロマイ シン、クラリスロマイシン、ロ キシスロマイシン、アジスロマ イシン、テリスロマイシン等）	エリスロシン、クラリス、クラリシッド、 ルリッド、ジスロマック、ケテック、他
抗結核剤	
アミノサリチル酸類（パラア ミノサリチル酸カルシウム水 和物等）	ニツパスカルシウム、他
イソニアジド	イスコチン、他
化学療法剤	
キノロン系抗菌剤（ナリジク ス酸、オフロキサシン、シプ ロフロキサシン、ノルフロキ サシン、レボフロキサシン水 和物等）	ウイントマイロン、タリビッド、シプロ キサシン、バクシダール、クラビット、 他
サルファ剤及びその配合剤 （スルファメトキサゾール・ トリメトプリム、サラゾスル ファピリジン等）	バクタ、バクトラミン、アザルフィジ ン、サラゾピリン、他
抗真菌剤	
アゾール系抗真菌剤（イトラコ ナゾール、フルコナゾール、ボ リコナゾール、ミコナゾール等）	イトリゾール、ジフルカン、ブイフェ ンド、フロリード、他

*……複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗HIV薬	
アタザナビル硫酸塩	レイアタッツ
サキナビルメシル酸塩	インビラーゼ
デラビルジンメシル酸塩	レスクリプター
ホスアンプレナビルカルシウム水和物	レクシヴァ
抗原虫剤	
キニーネ塩酸塩水和物	
メトロニダゾール	フラジール、他
その他の医薬品	
イプリフラボン	オステン、モンタルジー、他
インターフェロン	シミフェロン、オーアイエフ、他
ジスルフィラム	ノックピン
飲食物	
アルコール*	

*……………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

②本剤の作用を減弱する薬剤・飲食物

薬効分類	
成分名	主な商品名
催眠鎮静剤	
バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系薬剤(フェノバルビタール等)	フェノパール、ノーベルパール、他

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗てんかん剤	
カルバマゼピン	テグレトール、他
フェニトイン*	アレビアチン、ヒダントール、他
プリミドン	プリミドン
精神神経用剤	
トラゾドン塩酸塩	デジレル、レスリン、他
高脂血症用剤	
コレスチラミン	クエストラン
鎮吐剤	
アプレピタント	イメンド
ホルモン剤	
副腎皮質ホルモン（プレドニゾロン等*）	プレドニン、リンデロン、ソル・メドロール、コートン、他
ビタミン剤	
ビタミンK及びビタミンK含有製剤（フィトナジオン、メナテトレンオン、経腸栄養剤、高カロリー輸液用総合ビタミン剤等）	ビタミンK ₁ ：ケーワン、カチーフN、オフトアルムK、他 ビタミンK ₂ ：グラケー、他
抗腫瘍剤	
アザチオプリン*	イムラン、アザニン
メルカプトプリン水和物*	ロイケリン

* ……複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗結核剤	
リファンピシン	リファジン、リマクタン、他
抗真菌剤	
グリセオフルビン	
その他の医薬品	
ボセンタン水和物	トラクリア
納豆菌含有製剤	コンクチーム、他
飲食物	
アルコール*	
セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジ ョーンズ・ワート) 含有食品	
ビタミンK含有食品（納豆、 クロレラ食品、青汁等）	

*……………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

③本剤の作用減弱・増強以外の相互作用をきたすおそれのあるもの

薬効分類	
成分名	主な商品名
抗てんかん剤	
エトイン*	アクセノン
フェニトイン*	アレビアチン、ヒダントール、他
ホルモン剤	
甲状腺製剤（レボチロキシン ナトリウム水和物等*）	チラーヂンS、他

薬効分類	
成分名	主な商品名
ホルモン剤	
抗甲状腺製剤(チアマゾール等*)	メルカゾール、他
糖尿病用剤	
スルホニル尿素系糖尿病用剤* (グリベンクラミド、グリメ ピリド、クロルプロパミド、 トルブタミド等)	オイグルコン、アマリール、アベマ イド、ブタマイド、他
抗リウマチ剤	
オーラノフィン	リドーラ、他
抗HIV薬	
ネビラピン	ビラミューン
リトナビル	ノービア
ロピナビル・リトナビル配合 剤	カレトラ

*……………複数のカラムに掲載されていますので注意してください。

×モ

×モ



株式会社 陽進堂

富山県富山市婦中町萩島3697番地8号

2013年6月改訂